

学校だより

学校だより 2月号

令和7年1月31日

発行者 外日角小学校

TEL 283-0040

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」

校長 板井 雅春

2月になります。2月は1年のなかでも短い月ですから、あっという間に逃げてしまふとも言われます。2月3日は「春が立つ」と書いて春の季節の始まりとされる「立春」と言われる日です。例年は4日が多いですが、今年は3日です。昔の暦では、この頃が1年の始まりであるとされていました。江戸時代頃からは、立春の 前日を「節分」と言うようになったそうです。節分の行事は、「鬼は外、福は内」と大きな声で炒り大豆(福豆)を撒



き、年の数より1つ多い数(もしくは年の数)だけ豆を食べます。また、邪気除けとして、柊(ひいらぎいわし)という柊の小枝と焼いた鰯の頭を門口に挿します。季節の変わり目は邪気が入りやすいと言われ、それを除けるために豆撒きをしたり飾りを付けたりしたのです。最近では、幸運を招く方角を向いて黙って太巻きを丸かじりする風習も人気となっています。こうした風習は地域によっても違いがあるようです。また、早く長く厳しい

冬が一段落して、春の訪れを待ち望む歌が多くあります。「春が来た」「春よ来い」「花(春のうらの隅田川)」などです。長い冬の後に来る春の穏やかな季節は、冬の暮らしを過ごしている人たちにとっては昔から変わらない大きな喜びであり、その前の節分は春を迎えるために、昔からある大切な行事と言えます。

児童・保護者の皆さんは春をどのような気持ちで迎えますか。自分の中で追い出したい鬼「なまけ鬼」「忘れ物鬼」「寝ぼう鬼」「怒り鬼」などいろいろあると思います。「規則正しく生活する」「忘れ物をしない」「自分で起きる」「怒らない」などと思っても、なかなかできないことがあります。こうした心の中に住む目に見えない鬼は、「鬼は外」で追い出し、新鮮な気持ちで春、そして、新しい学年を迎えたいですね。

1月後半より、どの学年も6年生を送る会の準備に入りました。特に、来年度の最高学年に向け、中心的役割となっている5年生が打ち合わせ、物品作成など活発に活動しています。今年度のスローガンは「6年生に感謝を伝え 思い出に残る楽しい会にしよう」です。6年生にありがとうの感謝を伝えるだけでなく、6年生を送る会を通して、どの学年も進級に向けて、一段成長してほしいと思います。2月19日(水)は、1～4年生のリハーサル、20日(木)は送る会当日となります。それぞれの日に、お子様の頑張りをご覧ください。ご存じのように両日とも授業参観はありません。



1月23日(木)2,3限目は今年度最後の授業参観でした。お子様の様子はいかがだったでしょうか。3学期は次学年の0学期として取り組んでいます。平日にもかかわらず、たくさんの保護者の皆様の参観ありがとうございました。また、授業参観は、たくさんの保護者が来校され、グラウンド駐車場も一時、満車となりました。交通整理の人員を割けないため、保護者の皆様の良識に任せるという形となっていました。6年生を送る会リハーサル、6年生を送る会もあります。複数名の保護者様からご指摘頂いた、グラウンドの荒れも気になります。今後とも、徒歩でのご来校をよろしくお願いします。